

今回は震度5の地震発生（津波なし）に対して避難訓練をいたしました。



緊急地震速報とともに「地震です」と携帯の警報が鳴る。



扉に近い人が直ぐに避難出来るように療養室と玄関の扉を開ける



揺れが止まるまで一人ずつ利用者様のそばに行き何かが落ちて怪我をしないように掛け物などで覆い、利用者様の体を支えるなどして守る。

揺れが落ち着いてきたら管理者である坪田さんの指示のもと各スタッフが避難準備に入り、避難開始する。



受け入れ準備を始める。

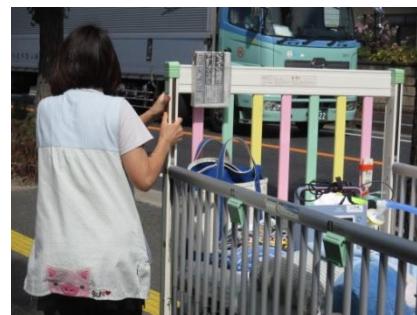
携帯のパルスオキシメーター・体温計・緊急時の内服カバン・
備蓄物品カートを駐車場へ移動させる。

避難場所には必ず看護師が在所しスタッフに指示を出す。





揺れが止まるのを待って指示のもと送迎車を
広い場所に移動させる。周りの何もない様な
安全なところ（電柱・フェンス・街路樹の転
倒による二次災害を避けられるところ）
電力の確保として、シュガーライターからイ
ンバーターに延長コードを準備する。



呼吸器使用時は回路を 1 本に変更しベッドの上に置きベッドのロックを外し、ベッドごと声をかけながら
安全を確保し外に避難する。



呼吸器の回路を 1 本に変更
し、酸素濃縮器を使用してい
る時には指示のもと酸素ボン
ベを準備しポンペに繋ぐ



一人が抱っこし、もう一人が呼吸
器や酸素を持ち一緒にお互い声を
かけながら安全な場所に移動す
る。



待機看護師の指示のもと暑さ対策として



ベッド柵に日よけをし、一人一人必ず付き添い目を離さない



車の中で待機し付き添い不安がらないように、声をかけそばについておく



利用者様の観察(呼吸器の作動状態・酸素使用状況・呼吸状態・体温・心拍・Spo2・表情・心理状態など)を行う。
吸引などの処置を行う。



利用者全員の状態を確認表でチェックする。
全員が避難できたか点呼する。

最終安全を確保できれば、管理者である坪田さんが家族に連絡をし、状態を報告する。

